

ACSLとA.L.I.が、産業用途のドローンパイロット育成プログラムで連携

～ ドローンの社会実装加速化に向け不足するパイロットを増加 ～

株式会社 A.L.I. Technologies
(株式会社エーエルアイテクノロジーズ)

株式会社 A.L.I. Technologies (本社: 東京都港区、代表取締役社長: 片野大輔、以下「A.L.I.」) は、各種産業用ソリューション向けドローンの自社開発を手掛ける株式会社自律制御システム研究所(本社: 千葉県千葉市、代表取締役社長: 太田裕朗、以下「ACSL」)と、この度、ドローン操縦領域における育成プログラムについて連携を開始したことをお知らせいたします。



×



我が国では、インフラ老朽化と少子高齢化による人手不足などの深刻な社会課題を背景に、産業用途におけるドローンの社会実装の期待が高まっており、多様な産業用ドローンが開発されています。

他方で、産業用途におけるドローン操縦は、卓越したドローン操縦スキルだけでなく、集中力や強い精神力、高度な社会性やコミュニケーション力などが求められており、こうしたクオリティを満たすパイロットの不足が社会実装のボトルネックにもなっています。

こうした中、両社は、産業用途に特化したドローンパイロットの育成プログラムの構築について連携し、上記の社会課題を一気に解消するための取組みを開始いたします。

ACSL 社は、国内初のドローン業界上場会社として、トップレベルの自律技術に裏付けされた画期的なドローンにより多様な領域での自動化・無人化を推進しております。また、開発に必要な不可欠なドローン操縦士として積極的な採用強化も実施しており、自動化無人化後にも必要な安全管理責任者としてドローン操縦士の活用を考えています。

他方、A.L.I.社は、技術開発だけでなく、ドローン操縦士の全国ネットワークや、要求安全水準の高い鉄道施設などの飛行運用マニュアル策定など、優れたドローンオペレーションノウハウを有し、点検、農業センシングなど様々なソリューションを全国で展開しています。また、操縦士の独自認定資格の構築や、ドローンスクールの立上げ支援 / 国際ドローンレースの運営に取り組むなど、多様なシーンでのドローン操縦の実績を有しています。

今回の取組みにおいては、両社において、こうした強みを持ちより、産業用途のドローンパイロットが、より安全かつ効率的に操縦できるプログラムを開発し、ドローンパイロットの産業を創出してまいります。本取組みにより、ACSL 社の機体開発の促進及び A.L.I.のドローン操縦士ネットワーク並びにソリューション強化にもつながるものと見込んでおります。

今後も、ACSL 社の画期的なドローンと、A.L.I.の優れたドローンオペレーションを組み合わせ、両社でドローンの社会実装を加速化してまいります。

<ACSL 社の概要>

「技術を通じて、人々をもっと大切なことへ」というミッションの下、商業用ドローンの製造販売及び自律制御技術を用いた無人化・IoT 化に係るソリューションサービスの提供を展開しています。

<https://www.acsl.co.jp/>

<A.L.I.の概要>

A.L.I.は、AI 搭載型ドローンをはじめ各種ソリューションビジネスを展開するドローン・AI 事業、独自の自律分散処理システムにより、世界中のコンピューティングパワーをシェアリングする演算力シェアリング事業、世界初の実用型ホバーバイクの販売を 2020 年に目指すエアームビリティ事業を展開しております。

A.L.I.は、今後も、既存の発想に捉われず、ドローン、AI、ブロックチェーン等のテクノロジーを活用したプロダクトを開発し、イノベーションを起こし続けてまいります。

公式サイト: <https://ali.jp/>

お問い合わせ先: info@ali.jp (広報ユニット)